(明治四十一年十二月二十日第三種郵便物認可) (日刊) 月曜及祭日の翌日休刊 明治四十三年十月七日 (金曜日) 第五百二十七號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜錄

漢城より

十月□日 八 □□□

▲嚮きに朝鮮を訪はれたる法學博士松崎藏之助氏の「朝鮮の經濟」と題する談話、九月二十日發行の東洋時報に載せられてあり、吾等は博士の此の談話に就て一分の滋味を讀者に侑めんと欲するもの也。

▲博士は生產の要素として土地、勞力及び資本の三を擧げ、開明の度最も低き時代にありては、土地が生產の最も大なる要素として働き、其れより進みて資本の力が大に働き、更に進みて勞力の效果が最も多く發揮せらると說き而して朝鮮目下の經濟狀態は土地が最も多く效果を發揮せりと斷せり。

▲次に博士は、勞力も幾分其效果を發揮し居れども殆んど論ずる足らずとし資本は有れども無きが如き狀態なりと云へり、而して其が古代より今日に至る迄の生產狀態に就て說ける中に、古昔の工藝品に精巧なるもの有るを見れば、朝鮮人が唯天然のみに依賴せしにあらずして、勞力の效果も大分發揮されしことを推知せらる、併し此場合注意を要する事は小規模の工藝的生產所謂美術的生產なるものは殆んど勞力のみに依賴して出來るものなりと、今の朝鮮に於ては美術的生產は最も奬勵すべきものゝ一なるなからんや。

▲博士は又資本に就て曰く、朝鮮に於て最も缺乏せるは資本なり、故に資本の潤澤なる日本又は歐米よりして之れを輸入すれば至極好都合なるが如きも現今朝鮮の經濟狀態が資本を以て左右し得る時代なるべきやは疑問として殘し置き、朝鮮に於て事業を爲すに當りては先づ最も生產費を要せざる土地、廣き意味に於ける土地(即ち山林、原野鑛山、水面等を含む)を最も多く要する處の生產を爲すを以て最も效果を收め易きものと爲す、次には勞力に依りて爲す處の事業にして資本の力を最も多く要すべき事業は最後に起すべきものならん乎と……斯く疑を存して結論せり、故に吾等亦疑ひを存して其說を抄記せり、夕ヾ疑も無く必要にして且つ效果を收め得べきは、小規模の工藝品生產に於ける勞力の發揮なり、今一々に例を示さんは聊か蒼蠅きことなれば、其の如何に效果を收め得べきやは漢城美術品製作所に就て研究し見よ吾等の言正しきを發見すること難からじ

雜報

我海軍の新勢力

世界有數の航洋驅逐艦海風號は近く來る十日舞鶴工廠にて東宮殿下臺臨の下に其雄姿を海上に浮ぶべく次で十五日には下級艦以上の大戰鬪艦河內は陛下親臨の下に橫須賀に於て是亦盛大なる進水式を擧行さるべきが如上二艦以外更らに近く進水すべく工事中のもの若くは進水を終りて艤裝中なる艦艇は吳工廠に於ける戰艦攝津(河內の姉妹艦)同上安藝(薩摩の姉妹艦)橫須賀工廠に於ける裝甲巡洋艦鞍馬(伊吹の妹姉艦)佐世保工廠に於ける非裝甲巡洋艦筑摩(平戶、矢矧 妹姉艦)長崎三菱造船所の非裝甲巡洋艦矢矧航洋驅逐艦山風(海風の妹姉艦)神戶川崎造船所の非裝甲巡洋艦平戶等にして即ち戰鬪艦三裝甲巡洋艦一非裝甲巡洋艦三航洋驅逐艦二總計九隻此噸數九萬三千餘噸は實に今明年中に大部分就役帝國海軍の勢力を補塡すべきものなるが內裝甲巡洋艦鞍馬のみは本月中に繫留運轉を行ひ來月初め公試運轉公試發射の上就役する事となるべしと

民黨の朝鮮調査

國民黨政務調查局にては朝鮮總督府官制發表後の調查方針として今後總督府の力を注ぐ可きは主として左の三點にありとなし專ら此の方面に付て調查の步を進むると云ふ即ち第一朝鮮人民をして日本政府に甘んじて服從せしめ何等の疑念なく政府の法令に從はしめざる可からず第二如何なる產業を保護奬勵して朝鮮人の生活に幸福安全を與ふべきか第三敎育其他の方法を以て朝鮮人民の文化に努め日本人と同化せしめざる可からず而して如上三方針實現のため衞生交通の完備、植林治水の事業未耕地の開墾其他漁業鑛山の開發等は勿論側には……の各學校を開設して人民の啓發指導に盡すと共に憲兵制度と警察制度とには或る制限を加へて其の威歷に渉らざる樣なす可き事等を深く研究調査する方針なりと

朝鮮人の道長官

道長官に任ぜられたる朝鮮人は六名なるが其閱歷左の如し

△李軫鎬(慶尙北道長官) 元訓練隊大尉にて趙羲淵(軍部大臣)の副官たり趙と共に日本に亡命又共に歸國したる者

△趙羲聞(黃海道長官) 元軍部大臣趙羲淵の弟にして陸軍少佐たり王妃事件の時兄と共に日本に亡命し統監政治となりて歸國黃海道に觀察使たりしもの

△李斗璜(全羅北道長官) 軍人出身にして兪吉濬と共に亡命し來り揮毫を以て日本國內を漫遊し居りたり

△朴重陽(忠淸南道長官) 張博の秘書にして內務地方局長たりし事あり曾て日本に亡命し居たるもの

△李完圭(江原道長官) 二十七八年頃李允用の下に警視總監たりき當時王妃と皇帝(李太王)の廢立陰謀を企て朴孝泳と共に日本に亡命したるもの

△申應熙(咸鏡南道長官) 二十七八年頃訓練大隊長たり朴孝泳と共に廢立を謀り事成らずして日本公使館に逃れ亡命し居たるもの

朝鮮の果樹栽培

朝鮮の風土は頗る果樹蔬菜の栽培に適し就中葡萄、梨、萃果の各種は其の結果最も良好にして日本に在りて曾て良結果を得難き彼の歐洲葡萄、西洋梨の如きも朝鮮にては其の栽培成績極めて良好にして既に園藝模範場の成績により明瞭なり從來年々朝鮮に輸入する果實蔬菜は果實にて萃果、桃、梨、葡萄、蜜柑の各種又蔬菜類にて落花生、豆類、玉蜀黍、馬鈴薯、甘藷及生菜、乾菜、鹹菜、罐詰菜の類を主として明治四十二年の總額五十六萬圓に達せり然るに果實にありては近來日本人若くは朝鮮人の企劃に係る大小の果樹園は京釜、京仁兩鐵道沿線は勿論到る處に現出し其產品漸次頭角を顯はし來り又蔬菜にありては朝鮮人も漸次優良のものを生產するに至りしも多くは日本人及支那人の手に係り近時盛んに各地の市場に現出せり要するに蔬菜は罐詰菜等の特種のものを除くの外輸入を要せざる域に進み又果實は蜜柑類を除くの外就中萃果、梨、葡萄の如き前途極めて有望にして今日の勢を以てすれば近き將來に於て優に朝鮮國內の需要を充たし且つ延ても日本、浦潮、滿洲及西比利亞の各方面に輸出するの勢に至ること難きに非ざるべし

●九月中の氣溫概況

仁川觀測所の實測したる九月中氣溫の大要を聞くに本月の氣溫は前月末より漸く降下し中旬以後頃に涼氣を催し來り是れを平年に比すれば中旬末僅に數日過高なりし外は總べて低度を示し前年に比するも尙ほ概ね過低にして殊に中旬以後に於て連日過低に經過せり併かも晴天日數は昨年と略相似たれど平年に比し五日少なく雨天日數は昨年及平年に等しきも雨量は著しく寡少にして二十四時間中十粍餘なりしは月初僅一日のみにて即ち前月の二分一にして平年に比し約四割なりと

講談

越後傳吉

大岡政談第九十二回 旭堂南陵講

越「庄左衞門方より屆け出たは何時ぢや 仲「御意にございます晚方にございました 越「ム、傳吉妻仙 仙「ハイ 越「傳吉召捕られたのは何時ぢや 仙「左樣でございます朝日をば拜んで居りますところへ役人が來でになりまして召捕られました 越「ム、傳吉の宅から泉積まで道は何程ある 仙「ハイ、一里ばかりにございます 越「ム、庄左衞門高田までは賀田村から何程ぢや 庄「左樣でございます、三里でございすな 越「ム、成程……仲右衞門 仲「ハ、ッ 越「只今庄左衞門の申立て通り相違なく其方調べいたしたか 仲「如何にも御意にございます 越「然らば其方にまで尋ぬる傳吉なる者が成程庄藏梅を殺したといたせ 仲「ハイ 越「殺して置て我宅へ歸る此の間道程が一里ぢや 仲「御意にござります 越「飛石に血の足跡裏口に血の足跡等がペッタリ附いた傳吉が穿いて居た草履に兩名を殺したに依つて血に染つたな 仲「御意にございます 越「一丁ぐらゐの間なれば、我宅に歸つて血の足跡も附くぢやらうが一里の道を步んで戾り、我宅にて血の足跡が附くといふことはあるまい仲右衞門 仲「ハ、ッ 越「何うぢや 仲「ハ、ッ 越「草鞋に血が附いてるからといふので名物の角兵衞獅子のやうに逆立をして戾つたのか越前殿はお戲半分、殆ら越後の人間だつて鯱鉾立をして一里も歸る氣遣ひはありやアしません、黑崎仲右衞門赤顏な顏をして 仲「ハ、ッ 越「一里步んで立歸りなばその途中如何ほど血に濡れて居る草鞋たりとも、砂に塗れてしまひ宅我へ戾つて血の足跡など附く謂れない仲右衞門、何うぢや 仲「ハ、ッ、ハ、ッ…… 越「殊に只今庄左衞門の申立ては曉寅上刻時に一里參つて仲兩名の屍骸を發見け、又一里戾つて傳吉の家の樣子を見屆け、三里參つて高田へ訴へをいたした、然らば此間凡そ五里の道、曉寅上刻時に出たものぢや、訴へを致したのは昧爽、傳吉が召捕られたのは旭日を拜する、こりやア昧爽、訴へによつて傳吉を召捕に參つたのが三里參つて召捕つたのである、然らば此間七八里の道、僅か一時たらずの間に七八里の道を往來いたして、傳吉召捕上げまで出來得べきものであるか、仲右衞門何うぢや 仲「ハ、ッ 越「其方にも吟味があるぞ、仲右衞門、恐れ入つたか、何うぢや流石の黑崎仲右衞門面體眞蒼色に相成つてしまひ 仲「失策た、何うして僞事といふものは巧く行くべきものではない 仲「庄左衞門めぢちなことをいふたわい」と思ひながら庄左衞門を尻目に掛けながら 仲「ハ、ッ、只答へなく俯いた 越「庄左衞門、其方が名主退役をいたしたのは如何なる次第ぢや 庄「左樣にございます、追々と老年になりますから 越「ム、年を老て參つたといつて何歲ぢや 庄「五十一歲になりますので 越「ハテナ、五十一歲といへば一村の支配をいたす名主の勤め盛り、人といふ者は三十にして立つ四十にして惑はず五十にして天命を知る、勤め盛りの其方まだ老年とまで申さぬわい、其方が退役いたしても悴の庄藏が名主の跡を引受くべき筈ではないか 庄「ハ、ッ 越「その悴まで退役をいたしたのは如何なる次第ぢや 庄「それはその……悴事も何分共に病身でございますから、それがために親子諸共退役を任りました 甚右衞門三右衞門の二人が立上つて 甚「エ、甚右衞門申上げます今庄左衞門のいふことは皆な嘘言でございますので、眞個のことを申上げます 三「エ、三右衞門が眞個のことを申上げます 役人「控へ、控く居れッ 甚「イヤ默て居られねへでがす、嘘言ばつかりた奉行樣へ申上げるのを聽て居られねへで、皆な嘘言ですから眞個なことを申上げます 三「ハイ、三右衞門申上げますと大きな聲で二人の口より、庄左衞門の惡事を申立ようといたす、越前殿は 越「コレ〳〵兩名同時に口を出してはならぬ、何れか一人より申立てよとお制しに相なつた



京城新報

內地より放資の機關

信託事業の必要

併合後の產業振興策と題して日々本紙に揭載せる諸名士の意見は、其の何れを實行するも必ず多大の效果を收め得べきものであらう、余輩亦茲に一つの提案がある、信託事業を起すこと即ち是れだ、今や半島に於ける金融機關は銀行其の他兎も角も既に備つてゐる、然るに信託事業の起らざるは、時勢の要求を無視し、若くは等閑に附せるものでは無いか、余輩は此の際時勢の要求に應じて有力なる信託會社設立の必要を認むるものである。

頃者余輩は屢々喜ぶべき報道に接する其は內地の大小資本家が半島の事業、特に、農業若くは土地に着眼し放資せんと欲することである、然れども彼等は自身半島を視察調査せんには幾許の困難を感ずる、去ればとて之れを安心して他人に依賴するの便宜を有するものは極めて少數である、故に最多數の資本家は、半島に放資するの意あるも結局放資する能はざる狀態である、既に資本家ありて半島に放資せんと欲し半島亦た內地よりの放資をば大旱に雲霓を望むが如くなるにも拘はらず、尙は大に資本の放下を見ざる所以如何、實に彼等に安心を與ふべき機關の備はらざるが爲めだ、余輩の見る處に依れば、內地の資本家が半島に放資せんと欲する理由は、現下內地の銀行利子高きも日步八厘、低きは五厘、公債は年四步なるに半島に於ては農業土地に投じても一割以上一割二步に廻るからである、故に若し安全に放資の途立たば招かずして資本は放下せらるべきである余輩は曩に、朝鮮案內所設立の必要を提唱した、之れは云ふ迄も無く必要なる仲介機關である、尙ほ半島諸所の商業會議所も眞面目に働かば仲介機關に成り得ると信ずる、併しながら最も簡便で且つ實行的に敏速なるは信託會社である、抑も信託會社の事業は歐米は素より、日本に於ても相應に弘まつて一つの經濟機關、營利事業として立つてゐる、若し茲に有力なる會社設立され、而して半島に於ける各種事業、特に農業及土地に放資せんとするものあらば、會社は代て土地の買收より其管理若くは其經營に任ずべく信用あり實力ある人々に依て經營されなば、產業の振興、延ては半島の開發に多大の貢献を爲すべきを余輩は信じて疑はぬのである。

尤も從來とても、內地の資本家にして半島在住の知人若くは取引銀行に依賴して放資の途を開きたるものもある、去れど斯る便宜を有せるもの〻極めて少數なるは前述の如く、又一方彼依託者と雖も依托者少數なればこそ好意上多少の勞を惜まざれ、如今放資の機運半島に向へるに方りて多くの依托者に滿足を與ふることは到底不可能である於此乎、一般放資者の機關たるべき信託會社設立の必要が起る。

若しも今日に於て此種の會社が起り、而して該會社にして相當の資本と信用とを有し、手腕ある人物にして其經營に任ずるに於ては、內地半島間の放資上に一大便宜を與ふるは火を睹るよりも明かである。

聞くところに依れば水原勸業模範場は內地よりの農業土地の放資者の爲に、從來其依賴に應じて買收せんとする土地を測量し、地質を鑑別し且つ萬般の設計をも立て與ふる等の便宜を供しつつ來たりと云ふ、されど同模範場は一官衙の事故、其資本家の爲に圖り得る範圍は極めて界限されてゐる。

茲に於てか思ふ、余輩の提唱する信託會社にして起り、常に模範場の如きと連絡を保ちて、一般放資者の代理行爲をなすに於ては農業土地放資上の安全を期し得べく、會社其物の事業の成效も疑なかるべしと信ぜらるのである。

今や氣運熟す、余輩は何人かゞ本事業の爲に奮起せんことを望むで止まぬのである。

東京電報

▲東宮殿下舞鶴行啓

皇太子殿下には昨六日京都より御日返りにて滋賀縣下御巡遊の御都合なりしに大津三井寺圓滿院に御一泊の上御視察を終へさせられ舞鶴へも行啓の旨御治定相成り其筋に通報ありたり（七日）

▲葡國革命と公使館

葡萄牙の革命黨員等の暴動は陸海軍共和派の援助を得て益々勢力加はり皇居を占領して國王は捕虜となりたりとの事なれど我駐剳の同國公使館には簡短なる電報ありしのみにて同公使館員は多少誇大に風說するにあらずやと憂慮し居れり（同上）

▲獨逸大使の歸任

兼て賜暇歸國中なりし獨逸全權大使ムンム男は來月本國出發極東御巡遊の途に就かるる東宮殿下の先發旁々御寄港地を觀察しつゝ歸任の筈（同上）

▲後援會の延期說

白瀬中尉の南極探險用船は終に交涉破談となるや後援會は是れを機とし其出發を明年に延期し充分準備を完成すべしと唱ふるも中尉は斷乎として十一月十五日出發の意を持し橫濱にて用船の交涉をなせり（同上）

▲評定官退職問題

山脇行政裁判所長官が終身官たるべき保證ある評定官に對し強制的に退職を命じたるは憲法上の大問題なりとの議政黨間に唱へられ居れば多分廿七議會の問題なるべし（同上）

▲江木部長の旅程

拓殖事業調査の爲滿州及朝鮮視察を命ぜられたる拓殖局部長江木翼氏は八日新橋發と決定し先づ大連に渡航滿州各地を觀察し歸途朝鮮に廻り充分調査を遂げ來月五六日頃歸還の豫定也（同上）

▲密獵者取締勵行

狩獵稅半減となりしより狩獵家夥しく增加し又密獵者も隨つて多數出でたるより此際右取締を一層嚴重に勵行すべき旨農商務大臣は各地方長官に訓令を發せり（同上）

▲山內侯爵の容態

目下代々木別邸に於て療養中なる舊高知の藩主山內侯は經過益々良好にして恢復時期に向ひつゝあり（同上）

▲九州の實業大會

九州實業大會は來十三日より佐賀縣に於て開催の筈なるが織田農務局參事官は大浦農相代理として八日東京出發臨席の筈なり（同上）

▲演習と通信事務

遞信省にては岡山縣下の特別大演習に關する一般通信に便する爲め今回殊に臨時通信事務所を開設するに決定せり（同）

▲學位授與式舉行

文部省に於ては今七日午前十時左の諸氏に對し學位授與式を舉行せり（同上）

東京府士族正七位　武富廣吉
山口縣平民　土橋喜藏
京都府平民　菅井竹吉
醫學博士（論文提出）
京都文科大學教授正七位　內藤虎次郎
文學博士（總長推薦）

雜報

貴族敍爵式舉行

畏き邊りの思召により特に朝鮮貴族に列せられ侯伯子男の榮爵を賜與さるべく七日午前十一時總督官邸に於て其授與式を擧行されぬ總て內命を拜せる人々は孰れも多年の功勞と又其高き門地を表彰せる朝鮮一流のもの〻みにして今日を晴れに着飾れる金色燦爛たる大禮服或は衣冠床かしき古流の禮裝等其美々しき言はん方なし午前十時三十分頃元親衞府長官李秉武氏を先頭第一とし李王家の近親元大臣元親任官門地高き元老等或は馬車を驅り或は人力車を飛ばし或は轎もて乘込み官邸の門前に橫付け微笑を湛へつゝ迎へ導かれて參候する態如何にも得意の極みと察せらる豫定の時刻稍々遲れて午前十一時二十分頃一同打揃へば官邸の門扉は深く鎖され唯だ門前徒らに車夫馬丁の主人の名譽を誇り貌に喋々喃々するを聽くのみ而して是より式は擧げられぬ式場は官邸の樓上に設けられ儼然たる其裝飾を施されたり斯くて正午過ぐる頃階級に順じて着席を定め寺內總督を始め蜂須賀式部官、小原宗秩寮主事、大久保軍司令官、兒玉秘書官其他列座し總督は儼然として優渥なる　陛下の御思召を傳へ順次御沙汰書を賜はりたり敍爵者の氏名は左の如し

▲侯爵　李載覺、李載完、李海昌、尹澤榮、朴泳孝、李海昇
▲伯爵　李址鎔、閔泳璘、李完用
▲子爵　李完鎔、李埼鎔、朴齊純、趙重應、閔丙奭、李容植、金允植、權重顯、李夏榮、李根澤、宋秉畯、任善準、李載崐、尹德榮、趙民熙、李秉武、李根命、閔泳奎、閔泳韶、閔泳徽、金聲根、高永喜
▲男爵　尹用求、洪淳馨、金奭鎭、韓昌洙、李根澔、趙羲淵、朴齊斌、成岐運、金春熙、趙同熙、朴箕陽、金思濬、張錫周、閔商鎬、趙東潤、崔錫敏、韓圭卨、兪吉濬、南廷哲、李乾夏、李容泰、閔泳達、閔泳綺、李鍾健、李鳳儀、尹雄烈、李根湘、李允用、李正魯、金永哲、李容元、金宗漢、趙鼎九、金鶴鎭、朴容大、趙慶鎬、金思轍、金炳翊、李胄榮、鄭漢朝、閔炯植、

則ち侯爵六名伯爵三名子爵二十二名男爵四十五名計七十四名なり

總督夫人園遊會

八日正午より總督官邸に開催さるべき園遊會に御招待申上ぐべき爲め藤波氏總督夫人代理として李王家に伺候し御案內申上げたり列席者は昌德宮、慶福宮等の女官を始め赤十字社、愛國婦人會委員等百餘名に達すべしと

●大懇親會と委員會

九日の京城民大懇親會は日時の逼迫するに從ひ有志はこれが準備の爲め日夜奔走しつゝあるが七日朝各委員等日本人商業會議所に委員會を開き酒肴其他に就いて協議する處ありたりと尙ほ七日午後七時よりも同所樓上に於て委員會を開き諸般の打合せを爲し一切の設備を決定せし由なり因みに大懇親會當日に於ける餘興は既報の如く軍樂隊、藝妓、妓生、煙花の外に有志者の寄附として朝鮮人の綱渡りに仁和加等の催ふしもあるべしとなり

●軍司令官の午餐會

軍司令官は來る十一日大觀邸に寺內總督を招待せられ午餐食を開かるゝ筈なり陪賓としては宇佐川中將、石井、明石、榊原の各少將、外波、三輪、大島の各大佐、菅野、角南中佐、藤田副官及び李秉武、李熙斗、趙性根等なりと尙午後二時よりは在京在留將校及び相當官約二百名を招待茶菓を饗應する由

恩賜公債の取締

今回舊韓國政府に仕へたる朝鮮人官吏に對し多額の恩賜金公債を下付されたるは既報の如くなるが早くも朝鮮人中には該公債を得たる代りに他の所有財產を典賣して現金を握らんと欲するもの若くは總督の特別注意を冒みして潛かに讓與典賣を企てんとするもの或は彼等を籠絡して之が典賣を爲さしめんとする第三者あるに到れり尤も大藏省令第三二七號恩賜公債發行規則によれば總督の許可を得れば讓與典賣必ずしも不可能にあらざるが如きも總督府に於ては豫め此事の不都合を慮かり本人自身の將來の爲めに特別の注意を發し決して他に讓與典賣すべからざるを命せり然れば公債規則は縱令絕對的禁止を爲さざるにもせよ這般總督の命令ある以上は到底其出願あるも許可されざる可く又奸惡なる第三者の手段を施す能はざるべしと云へり

●區裁判所事務引繼

新官制實施の日を以て廢止されたる朝鮮に於ける既設未設の區裁判所三十五個所ありたることは既報の如くなるが昨今一二の區裁判所は事務引繼ぎの完了を見るに至りたるを以て來る十日頃迄には全部の引繼を見るべしと

●郡守二百九十五名

十月三日付を以て李元榮氏以下二百九十五名を總督府郡守に任命せられたり

朝鮮產黑鉛の輸出額（度支部司稅局調查）

朝鮮產黑鉛は歐米諸國に需要多きも船便の直航するもの稀なる爲め殆んど一旦日本を經由するの狀況にして今最近二年の移出額を擧ぐれば左の如し

仕向地	四十二年 數量（擔）	四十二年 價額（圓）	四十一年 數量（擔）	四十一年 價格（圓）
日本	一五〇、二六六	一五〇、二七七	九六、三三五	九六、九三三
英吉利	一一六	一三八	……	……
獨逸	一六〇	一六〇	……	……
計	一五〇、五四二	一五〇、五七五	九六、三三五	九六、九三三

即ち直接歐米輸出は昨年に至り二百餘擔を計上するに過ぎず然るに翻つて兩年間に日本より外國に轉輸せられたるものを調査するに左の如く日本移出額の約七割乃至九割に相當せり

區別	四十二年（擔）	四十一年（擔）
朝鮮より日本へ移出	一五〇、二六六	九六、三三五
日本より諸外國へ轉輸	一〇八、三九九	八九、四三七
轉輸額の移出額に對する割合	七割二分	九割三分

更に右の日本より轉輸するものに就き其仕出港並に需要先を揭ぐれば左の如し

仕向港	仕向國	四十二年（擔）	四十一年（擔）
橫濱港	清國	……	三九〇
神戶港	英吉利	……	八六
同上	北米合衆國	七六〇	……
計		七六〇	八六
長崎港	關東洲	六〇	……
同上	英吉利	九〇五	六三三
同上	獨逸	四、三四八	一三、三二〇
同上	白耳義	五、四三五	六六、一三〇
同上	其他諸國	一一	四四
計		一〇、七五九	八〇、一二六
門司港	英領海峽殖民地	……	三五
同上	英吉利	八七、四〇三	七、九九一
同上	獨逸	三、七〇一	一七
同上	北米合衆國	五、六五六	五〇三
同上	其他諸國	二〇	一〇〇
計		九六、七六〇	八、八三五
通計		一〇八、三九九	八九、四三七

●朝市場開業式舉行

漢城共同倉庫株式會社の施設に係る南大門內南米倉町朝市は舊新日本人共樓營業の設備全く整頓せしにより京城食糧品組合發起となり一昨六日正午より同市場に市內取引店五百餘名を招待し花々敷開業式を擧行し組合長辻本嘉三郞氏祝詞を朗讀し了つて模擬店開始し淸華亭及淸水席の紅裙連此間を斡旋し盛會を極め午後三時散會せりと云ふ

●東拓觀光團の消息

馬山出發水路に依り五日午後三時一同無事木浦に上陸熱盛なる歡迎を受け翌六日棉花栽培狀況及棉絲工場水源地等觀察し七日は榮山浦に着すべき豫定なるが同榮山浦には東拓出張所あり万般の準備を整へ一行を待受け居れり尙同一行には各出張所より逐次役員を伴隨せしめ說明其の他万事に付け一行の便を計り居れりと

●仁川會議所の總會

仁川日本人商業會議所總會は六日午後八時開會特別議員岩崎直英氏靑木會頭稻田副會頭以下出席者十五名にて左記の議案を決議し十一時半閉會せり

一、第九回聯合會へ提出の件は原案の通りに文章に修正を加へること
一、四十四年度豫算は一二の訂正ありて原案通り決定
一、名稱變更は協議を爲したるも決定せず

●虎病發生と觀光團

九日入京する鐵道院主催觀光團員は總人員二百五十名の豫定なりしも平壤地方に虎疫發生の報傳はるや昨年愛媛縣觀光團の京城に於て羅病の實例もありとて俄かに躊躇するものあり爲めに九日入京の人數は二百〇三名に減せり

●會議所常設調查員

仁川商業會議所にては今回常設調查員を置く事とし會頭の指命にて加來、竹田津、田中、市川、北島、福田、村谷、奧田、增田の九名に指命通牒せり

●漢城女學校の遠足

官立漢城高等女學校にては秋季遠足運動の爲め七日早朝職員生徒一同校庭に集合し紅紫の袂を連ねて鷺島に向ひたるが農園其他を參觀し夕景歸校せりと

●李容九氏授爵洩れ

元一進會々長李容九氏にも授爵あるべしとは何人も想像せし所なるが其發表を見るに授爵に洩れ居れり

●松永川上兩氏出發

新任松永平安南道長官及び川上平安北道長官は七日午前九時五分南大門發北行列車にて平壤へ向け出發したり

●鈴木香川兩氏出發

鈴木忠淸北道長官は七日午前九時南大門發南行列車にて鳥致院迄同列車にて香川慶尙南道長官は馬山へ向け出發す

●荒井度支部長歸任

豫算用務を帶び東上中なりし同長官は七日午後八時十分南大門着歸任せらる

●中川檢事正別宴

六日山邊、松寺中村の諸氏發起にて前京城地方裁判所檢事正中川一介氏の送別會を同日午後六時より花月樓に開催せるが來會者木內、倉富兩長官俵副總裁明石警務總長の外裁判所員並に憲兵警察官百餘名出席中村所長の挨拶に中川氏の答辭了りて宴を張り頗る盛會なりき因に中川氏は八日午前九時南大門發歸國の筈

●消火栓用ホース

仁川民團にては豫て東京へ注文せし水道消火栓用ホース其他附屬品到着せしを以て警察署へ引渡し目下組立試用の準備中なりと

●前川虎造氏入京

中國民報主筆の同氏朝鮮視察の爲め木浦群山、仁川を經て六日入京巴城館投宿し七日出發水原、密陽、馬山を通過して歸社したり

●若松府尹の赴任

新任釜山府尹若松寬三郞氏は六日午後二時五十一分平壤發急行列車にて釜山へ向け出發せり

●三本課長等出迎

鐵道局三本營業課長村瀨副參事佐藤車輛長は朝鮮觀光團出迎の爲七日釜山へ向け出發したり

●勞働團体の歸還

七日午前八時五分新義州發の急行列車にて勞働者團体二十七名は新橋へ向つて出發したり

●藤田軍醫監招宴

藤田軍醫監は八日軍司令部重なる將校を官邸に招待す

公人私人

▲上林敬次郞（專賣局長）六日入京す
▲金村長（安東タイムス社長）同上
▲竹內正記（大阪每日記者）六日歸社
▲阪井秀子（神戶又新記者）六日入京

▲京城手形交換高▼

十月	金高	枚數
七日	九〇、九九六、九六	五三二

▲大阪期米電報▼

▲後場（六日）　十月限止十五圓廿八錢▲十一月限止十五圓五錢▲十二月限止十五圓十三錢
▲前場（七日）　十月限寄十五圓九錢止十五圓二十一錢▲十一月限寄十四圓九十二錢止十五圓五錢▲十二月限寄十四圓九十七錢止十五圓十七錢

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　六日の分如左
乘車客　七六八　下車客　九三三
乘車賃金　一五〇四、三五
▲南大門荷物扱高　六日の分如左
發送　八四噸　到着　三六八噸
發送賃金　九七九、七四
▲龍山驛の乘降客　六日の分如左
乘車客　二九二　下車客　二三三
乘車賃金　三七二、六二
▲龍山驛荷物扱高　六日の分如左
發送　六八噸　到着　二八六噸
發送賃金　一六九、三〇

▲仁川港の出入船舶▼

▲香椎丸　八日唐津より入港
▲日高丸　同　芝罘より入港
▲巴丸　八日午後四時鎭南浦へ出港
▲群山丸　八日午後五時大阪へ向出港

▲治外法權▼

ホルトガル國の首府リスボンに大革命起り、軍艦王居を砲擊し、國王は捕虜となれりと、一体革命の原因が何で首謀者が何人かはまだ判らぬ▲聞く葡國には王位相續主張者が現王室以外にある、而して該主張者は之迄も幾度か革命を起し現王室を倒して已れ取つて代はらんとの企を爲した事があるのである、思ふに今度の革命も乃ち夫れではないか、併し捕虜となつたと云ふ現王の妃は英皇室出の方だ、ダカラ英政府もマサカにダマツて傍觀しては居まい▲或人曰く今度の葡國革命は歐洲亂動の端緒となるかも知れぬと、記者は世界の平和の爲にソンナ事を信ぜぬ、併し歷史は繰返す普佛戰爭以後歐洲の平和は歷史を無視する程に續いた、もはやソロソロ破裂するかも知れぬ▲ホルトガルは昔時に於て殖民通商の國であつた、而して東洋に於ても可成に幅を利かせたものだ其幅を利かせた名殘として今に廣東附近の「マカオ」を領して居る、マカオは南淸沿岸に於て公開賭博、亞片製造賣淫等を以て有名な場所だ、所謂殖民國の末路も之れでは氣の毒な物だ▲マカオで思出したが記者が同地へ遊んだとき體の馬鹿に多きいホテルの爺から、今度京日の監督になられた德富蘇峰が先年同地へ遊び、マカオ占領者何とか云ふ將軍の偉業をたたへ且つ公開賭博場に入つて、大失敗を演ぜられたと云ふ話を聞いた▲愈朝鮮貴族が出來た、爵位は我　陛下から給はつたものだ、今日以後受爵者人は貴族の體面を保つ事に勉むべく、世人は彼等に對して尊敬の念を有すべしだ▲此頃官吏の罷免者が續々內地へ歸る、之は甚だ惡い現象だ、ナゼ彼等は踏留つて移住民とならぬか▲在滿朝鮮人の治外法權問題が起つて居る、本問題に關する淸國政府の主張は無理だ。

▲仁川米豆取引所▼

●後場（六日）　十一月限一節なし▲二節八圓六十八錢▲三節なし▲出來高一
▲十二月限一節八圓七十六錢七錢五錢六錢五錢▲二節七十二錢七十錢六十九錢八錢七錢六錢七錢七錢六錢▲三節六十六錢七錢八錢七錢八錢七錢▲出來高一方二千五百五十石
●前場（七日）　十一月限一節八圓六十五錢九錢八錢七錢八錢七錢八錢▲二節七圓二錢四錢五錢六錢▲三節七圓六十七錢七錢六錢▲出來高一方五千九百石

●關野工學博士一行

先般平北方面に出發されたる關野博士一行は三十日[illegible]城に一泊し本月一日平壤着引續き同附近を調査し七日夜京城歸着の筈なりしも調査上の都合に因り一日延期し八日[illegible]は三四日滯在の上豫定の如く南部方面に出發本年末迄巡察し釜山より直に東京に歸らるべき筈なりしも模樣變となり調査終了の上は一旦京城に引返さ[illegible]

●總督府の定例會議

七日午前十一時より總督府に於て定例會議を開催せるが出席者は倉富司法部長官有吉總務部長官渡邊高等法院長[illegible]長小松外事局長の諸氏[illegible]

●仁川通水式の決定

仁川水道通水式は愈々來る廿三日と決定し當日は特別列車にて京龍の賓客五百名を[illegible]し[illegible]水源地に案內し夫より[illegible]松林山貯水池に[illegible]通水式を擧行する由

●天氣豫報（自七日午後六時至八日午後六時）

南風曇但少雨

六日（華氏）　最高溫度　七二、九　最低溫度　五〇、〇

▲仁川米豆取引所▼

▲後場（六日）十一月限▲一節九錢八錢七錢六錢七錢六錢▲二節六十六錢七錢八錢七錢八錢七錢▲出來高一萬二千五百五十石 ▲後場（六日）八圓六十八錢▲三節なし▲出來高一

▲前場（七日）十一月限▲一節八圓七十八錢七錢五錢六錢五錢▲二節七十二錢七十錢六十 十二月限▲一節八圓六十五錢九錢八錢七錢八錢七錢八▲二節七圓三錢四錢五錢六錢▲三節七十錢七錢六錢▲出來高一方五千九百石

●關野工學博士一行

先般中北方面に出張されたる關野博士一行は三十一日開城に一泊し本月一日平壤に出發本年末迄巡察し釜山より直には三四日滯在の上豫定の如く南部方面墳墓引續き附近を調査し七日夜京城歸着の筈なりしも調査上の都合に因り東京に歸らるべき筈なりしも模樣變となり調査終了の上は一旦京城に引返さ

●總督府の定例會議

七日午前十一時より總督府に於て定例會議を開催せるが出席者は倉富司法部長官有吉總務部長官渡邊高等法院長國分外事局長の諸氏

●仁川通水式の決定

仁川水道通水式は愈々來る廿三日と決定し當日は特別列車にて京城の賓客五百名を水源地に案内し夫より松林山貯水池に於て通水式を擧行する由

●天氣豫報（自七日午後六時至八日午後六時）南風曇但少雨

六日（華氏） 最高溫度 七二、九 最低溫度 五〇、



不心得な繼母と感心な繼子

▽果して事實か

朝鮮鐵道管理局運輸部の書記とやらにて西大門の同官舍に住居せる河合利三郎と云ふは在鄕當時土地の藝妓に馴染みたる結果は三人の子供迄ある間の妻を離縁し藝名某、本名みつ子を落籍せしめ遂に後妻として家に引き入れたるが其の後渡鮮の際三人の子の内の次男順藏（十二）だけを伴ひ來り目下尋常科四年生として通學せしめ居れるが後妻のみつが世に有り觸れたる繼母根性から此の順藏が憎くて堪らず所謂箸の上げ下しに苛め散らすにぞ無垢な小兒も僅かの内に萎縮げ却つて偶には繼母の處置に不平を抱くこともあるも訴ふに所なく小さき胸を抱きてシク／＼泣くのみ然るに主人利三郎は勤め人の事なれば家にあることも稀れに且つは妻みつ子を信用すること深きにぞ何事も順藏が惡いとのみ思ひ居るのみか物見遊山や泥峴街邊の散歩に夫婦伴れ立ち出づる際にも不用心を口實に幼少なる順藏一人を殘し置き更に外部より錠を掛け行くにぞ年には老せた同人も夜が更けるに伴れ淋しくて時には泣き出すこともあれば其の都度近所の誰れ彼れが可愛想なれば我が家に伴れ歸りて遊ばせやらんとの親切から赴くこともあるも何分外部より錠を下してあれば何うすることもならず氣の毒など思ふ斗り萬一天災地變にても起りなば怎うすることも出來ず無慘の最後を遂ぐることもやあらんなど噂し合へるが扨誰れ一人進んで忠告する人もなきも憂世の常か而るに茲に殊勝なるは順藏にて知る人の誰れ彼れが繼母みつ子の仕打を餘りなと罵り尋ぬることあるも常に私が惡いから叱られるのでお母さんが惡いのではありませんと涙に霑む眼を瞬きて決して他人に繼母の所爲を語らずとかさらぬだに秋は淋しきものなるを

不埒な修築工事

▽空前絶後の珍工事

種々不平の聲ありし太平町大通り下水修築工事も既に完了した樣だが監督者は檢分せられたか何うか僕の見る所を以てすれば未だ檢分せられぬものと思はるゝ尤も官制の改革があつたので夫れ所でなかつたのかは知らぬが然りとは餘りに無責任だ工事の不親切な點は擧げるに遑ない程澤山だが中にも同町榊原商店皮革部側の下水には電柱の支柱を取り込んである其の支柱が太い譯ではないが下水が狹いため之が爲めに排水路は全然斷ち切られて居る、不親切とよりは不都合である不埒である水の捌けない如に溝渠を修築するとは朝鮮でも稀れに見る珍事である當局は名譽保持の爲め至急何んとかせられたいものだ

夫婦約定致候事

▽男は前科者女は酌婦

大阪府下豐能郡池田村山口芳兵衞（五二）は本籍地に於て裁判所書記を奉職中詐欺取財にて二ヶ月の處刑を受けしにぞ國元にも居惡くなり去る三十八年渡韓し釜山の某旅館の客引を爲し居る中今度は窃盜罪にて三ヶ月所刑せられ出獄後仁川仲町一丁目原金旅館へ宿泊中小才の廻る男とて、甘く話をつけ同館の客引となりて稼ぎ其金は各所の淫賣婦につぎ込み中にも寺町三日月の三吉こと云ふ藝者に夢中になり夫婦約束迄爲したりしが昨冬に至り原金より解雇せられしかば他に何か好き事もあらんかと考へた結果少しく法律を知り居る處から本年二月頃より畜□の或る温突を借受け朝鮮人の債權債務の事を引受けては不良の事を爲し三吉の處へ通ひ居りしが鮮人も彼れの惡手段を知ると共に依頼者もなくなりしより持て生れた惡心を起し本年七月十二日仲町三丁目久保德一方へ忍び入り衣類其他雜品に七十餘圓を窃取し其他數箇所にて窃盜をはたらき贓品は京城龍山にて金に代へ三吉の處に浮れ居るを一昨日仁川寺町二丁目に於て刑事係の爲めに取押られ昨日檢事局へ送られたるが右三吉より同人に對し左の如き約定書を入れありたりとは振つたり

約定書

一貴でんと夫婦の約束致候に付如何なる事情これあり候とも他に緣付致し不申もしも約定にあいそむき候節は貴殿に於て相當なる御處置相成候ともごうも苦情不申候依て一札差入如件

明治四十二年十二月三日 三吉事 津村てる印

山口芳兵衞どの

呆果た姉妹酌婦

▽虫の好く酌婦稼業

龍山櫻町飲食店藤井善太郎方酌婦藤井市子の妹をしは前月密賣淫の廉に依り拘留處分を受けし者なるが其れとは知らぬ國元門司市前内堀川町三丁目の父由太郎は姉妹の身上を打案じ居りし所去月龍山にて酌婦をなし居ると聞き大いに驚き龍山署へ保護願をなし歸國說諭方を願ひ出しより同署にては兩名を呼出し歸國する樣說諭せしに兩名は歸國を承諾せしより其旨國元へ通知したる所父由太郎は龍山署へ宛十五圓の旅費を送り來りしにより去月三十日午後四時三十一分龍山發仁川行列車に巡査保護の下に乘車せしめたるに此程父由太郎より未だ歸らざるとの通知ありしにぞ龍山署は所々搜査の結果永登浦東中町滿月樓に兩名とも酌婦として住込み居る事探知し目下取調中なるが聞く所に依れば藤井善太郎が此の保護願ありたると同時に滿月樓へ仕替の相談をなし一先龍山を出發し歸國すると見せ掛け同日永登浦に下車したるものなりとか又は兩名色男ありとか種々の風說あれど开は兎も角として父の心も知らず間違のなき樣歸途迄護送して貰つた警察の心切も思はずして又々酌婦に住込むとは呆れた女なり

醜吏の再審期

民團事件

彼の民團事件の醜吏等が第一審判決に服せず控訴したる事は既報の如くなるが該被告末廣幸作戸田登木田平藏白濱千春宮村直人幾野幾吉に對する事件は來る二十五日京城控訴院に於て公判開廷ある可く長深澤檢事の係りにて補裁判辯護人として木尾莊子田中岩田北島岩本の六氏出廷す可しと

不法監禁事件宣告期

建部喜三郎草野文藏に對する不法監禁罪は曩きに辯論終決し昨七日言渡しある可き旨報導せしが裁判長の方にて再審の必要を認め同日は再審ありて來る十日言渡と決定したり

●谷川の控訴審

谷川三藏

谷川三藏に對する私印私書僞造行使詐欺取財證書騙取事件は第一審裁判に對し谷川の控訴と共に檢事よりも控訴せられ控訴院に送られし事は既報の如くなるが該事件は來る十一月十五日京城控訴院に於て公判開廷なるが被告谷川は飽迄罪科を免れん爲めか木尾辯護士の外に東京の辯護士松田源次氏に辯護を依賴したれば同日は同氏の出廷あるべし

●民團吏員の科料

一昨六日午後四時南蓬萊町四丁目の鮮人部落に於て銃聲聞へしより西部署詰巡査某は私服の儘現場に赴きしに日本人紳士風の者雀二羽を銃殺所持するより氏名を問はず只單に人家密集部落に於て發砲は出來ずと注意したるに僕は民團吏員なれば貴樣の干涉を受ける必要なしと主張するより私服巡査は名刺を出したるに巡査が何か僕は民團技手高橋利八なり勝手にせよなど暴言を吐くより告發せられ科料處分を受けしが亂暴なる民團吏員かな

●西部の種痘好績

本月一日より四日迄西部管內にて種痘を施行したるに是迄は勸誘しても應ずる者少かりしが今般管轄の變更と共に人口九千九百餘名を減じたるにも拘はらず勸誘を待たずして進んで接種を乞ふ者多く爲に前回施行の時より却つて千六百四十二名を增加したりと

●東部管內の强盜

東部仁昌坊長位里十六統三戶雜貨商姜泰龍（六五）方に十月四日午前一時頃兇器を携へ戶を押し開き侵入し來り妻を搖り起し金を出せ出さねど殺すと脅迫せしに妻は恐怖の餘り一言も發せず着物を頭に冠り居りしに商品三十二圓餘の物を奪取し去りたりとて屆出を受けたる東部署は犯人を搜查中なりと

●仁川雜事

仁川宮町二丁目道路に於て七日午後四時頃四歲位の男の兒が泣きながら迷ひ居るを同町一丁目町田仙吉の妻が見付け屆け出たるにより保護を加へ置き取調たるに本町四丁目中野常次郎の甥重村博と判明し將來を戒め引渡せり▲敷島遊客は三十五人にして百十九圓廿五錢の散財金

目と耳（八日の分）

▲壽座 每夜喝采の裡に打續け居たる東操一座も愈々八日限り打ち揚ぐるを以て其の跡は御馴染の眞劇三美團即ち本年一月壽座にて開場せし伊東文夫一派が內地より呼び寄せたる泉英を筆頭に女形では伊東一派の立てれやまたる藤島黎水外稻葉新之助西井錦太郎橋本義正大町嘉衞衞門日東勘兵衞等外十五名の俳優總員四十名の合同劇にて九日より開演の由

▲歌舞伎座 曾我の家一座其他の西鄕二度の旗揚、義士銘々傳、滿洲血染の地圖（東操）

▲浪花館 如雲一座は大喝采の內に合同劇狂言は「不如歸」外喜劇一場五日限り打揚げたるが代りは大阪千歲活動寫眞にして重なる映畫左の如し 關東大洪水慘狀、舊劇安達原三段目、萩袖祭文の場淨瑠璃入、伊勢大廟宇治橋渡橋式の盛典、二見浦日の出光景、此他餘興數十種（二十錢均一）

▲露國大曲馬 明治町東拓敷地假小屋に於ける露國人「パローフスキー」一座の大曲馬每夜七時より開場

●露國大曲馬を觀る

▽大相撲以來の大人氣

大評判の露國曲馬を觀た、場所は明治町三丁目の東拓敷地で四方に空地が多い爲め大變スガ／＼して氣持が宜いそれに小屋掛の設備も至極簡單ではあるが極めて淸潔に出來て居る、午後七時半開場、最初はモーデル孃の曲乘馬上あり逆に落ち掛の周圍に立て並べたる小國旗を集めて手際に先づ度膽を拔かれ次にニユーシャー孃の曲乘りは水際立つて鮮かである同孃は容貌も一番美しいが技術も一番秀でて居る、餘興のダンス抔も一際目出つて見へる、小兒ワンヤーが小さい體で自由自在に乘り廻す處見物の喝采鳴りも止まぬ、此の外御大パロフスキーの操馬に至つては只感嘆の外はない何にしろ五六頭の馬を追ひ放して之を自由自在に使ふ、其使方はホンの合圖と言葉とであるが馬は實際に言葉を聽き譯ける、能くもマアーアンナに仕込んだものだと人々感嘆の聲を洩さぬはないそれに在來の曲馬とは違つて悉く馬術式を加味して居る處流石コザックの將校であつただけの價値がある何は曲馬の中に挾んで喜劇、体術、舞踏等を演じ決して看客に退屈を覺へしめん、言語は總べて英語を用ひて居るが其動作に依つて英語を解せぬ人にも容易に了解する事が出來る、種類は一週間每に取り替へるそうだ（▲生）

▲學民文庫▼

▲旭町の○橋君に告ぐ中の新地開盛樓の芳子とは深く夫婦約束も出來てある樣だけれども彼れには五年も添て居る河野と云ふ人があるのだ此の際始末を付けたなら一週間も經ない內に左樣ならですよ注意し玉へ君が彼れの經歷を知らなければ敎へて上げ升よ（南大門物知り生）▲元永同局に居た郵便局長閣何んとか何んとか云ふ投書は頗る美事な惡筆で讀めないから沒とす（係）▲長谷川町本願寺へ前の雜貨屋に電話の取次まで賴んだが何んのかのと取次いて吳れない不信切な坊主だ元來主任青山坊主は何んとかして欲んとかで甚だ最も就中頗る不埒だ下役開敎師は八月下旬に料理屋吳服屋に負債したまゝ遂にトウマンカツだ夫れを何んとかすれば知らん顏の半兵衛だ面憎い葉坊主の小使坊主奴▲と云ふ如な投書があつたが此れを號けて「江戶の仇を長崎投書」と云ふのだ（係）▲本町一丁目の荒物屋に實に珍らしい動物が居ります皆さん是非た通りの節は御一覽下さい（珍紛漢）▲新町淸月樓の鹿の子女郎よ如何なる譯かは知らぬけれど彼の樣に牧野君を罵倒しては可愛想ですよ本人は男泣きに泣いて居ます如何に御意に叶ひし情夫と雖も一人の爲めに數人を泣かすさは地獄行きの仕度も同樣だよ（龍山一商人）▲宮町の阿婆摺れたかは再三新聞の厄介になり謹愼すべき筈なるに自身の淫行は棚に上げ却つて不平顏して町內を睨着して居たが今度『亭主の留守に失敬』と云ふ題で自分より十五六も年下の味噌男と乳操合の一條を素破拔かれたから此の横着者も少しはチーパツタと見へて表札を引込めた今後は不平丈けは決して云ひ廻ることはならぬぞ（刀劍好）▲與兵衛さん折角妻女を呼び戾したが君の留守には何んとか彼んとかの投書は沒とす（係）▲小生の二年以前よりの耳の痼疾が本町一丁目の中村醫院の診療に依つて二週間の今日全治を見るに至りました平民文庫を借用して禮を申します（旭町三丁目耳聾生）▲露國人の大曲馬は素晴しい大景氣と云ふのを聞いたから見に行つたが技術の巧妙なは話し以上西洋美人のダンス等の景物もあり何人も一度は御覽になつて宜いと思ひます（感心生）

今日の運勢

十月八日舊九月五日九紫 丙午 納△一白●失錯多き日諸事謹愼の事旅行金談貸借尤も忌む△二黑●仕官就職相談委囑婚談に吉疾病衞生に留意すべし△三碧●親族の事心配あり謀計及巧妙の辭令に迷はさる勿れ△四綠●槪して康寧の日なり但し家庭上の事煩鎖多し△五黃●會心の日大凡吉模樣替方針替旅行轉住に忌む△六白●新事見合せの事建築金屬の業務に吉△七赤●起業開店及調停中裁解決に忌む盜害横領防ぐべし△八白●建築金屬の業務及び相談委囑謀議婚談貸借に吉他は手控への事△九紫●諸事手控への事旅行婚談連盟の事尤も忌む（本町五丁目三一館判斷）